

入居団体の紹介

1. (特活) 神奈川県日中友好文化教育センター【Cタイプ】

【団体の目的と概要】

日中両国の一般市民による文化教育面における草の根的な交流活動を推進し、互いに相手を知ることにより信頼関係を醸成し、日中間の偏見の無い友好関係の樹立を目的とする。近年中国は目覚ましい発展を遂げ世界における影響力も大きくなり、日中間においても更なる協力や信頼関係を確立していかなければならない、我々の役割はこれまでもまして重要になるが上記目的を達成するため、次の非営利活動にかかわる事業や活動をボランティアで行う。

①中国語及び日本語の普及、 ②両国の文化、歴史の相互交流 ③伝統芸能等の紹介

活動の費用は会員や参加者の寄付金、ならびに実施する活動や事業の受益者・参加者の実費負担としている。

会員 60人 (専従職員 6人)

【活動内容】

・ 主な活動地域

横浜市、その他、県内、国内、中国の各地

・ 活動の内容

①中国語の普及：2001年より毎週土曜日に中国語教室“杏の会”を開講。始め1クラスで現在は7クラス(各2時間)。講師は中国人留学生。

②神奈川徐福会の運営；学習会(隔月に1回)、研究フォーラムの開催。県内・国内の徐福ゆかりの地の訪問旅行、中国各地及び韓国で開催される徐福国際会議への参加、及び研究発表の実施

③古典芸能の実演・紹介 ⑤中国各地の大学、小・中・高校、徐福会、等を訪問或いは招聘し交流を深める。

・ 活動日や活動場所 中国語教室は、毎週土用日に県民サポートセンター研修室(時折開港記念館や共同オフィスの研修室を利用。その他の活動は不定期なものが多いが中国語教室と同様で県民サポートセンターを主体に横浜市の各施設を利用している。